東証スタンダード・名証プレミア：7213

2027年3月期
第2四半期決算説明資料

レシップホールディングス株式会社

2026年11月25日

Copyright © LECIP HOLDINGS CORPORATION

Agenda

01 事業概要
P3～P6

02 2027年3月期　第2四半期決算概要
P7～P17

03 トピックス
P18～P23

04 2027年3月期　通期業績予想の状況
P24～P26

05 次期中期経営計画の方向性
P27～P31

06 参考資料
P32～P36

Copyright © LECIP HOLDINGS CORPORATION

会社概要



LECIP GROUP

レシップホールディングス株式会社
レシップ株式会社
レシップ電子株式会社
レシップエンジニアリング株式会社

LECIP INC.
LECIP (SINGAPORE) PTE LTD
LECIP ARCONTIA AB



JAPAN　USA　SINGAPORE　SWEDEN

会社名	レシップホールディングス株式会社 （LECIP HOLDINGS CORPORATION）
設立	1953年3月（創業：1948年）
代表者	代表取締役社長　杉本　眞
本社所在地	岐阜県本巣市上保1260番地の2
資本金	17億1,822万円
発行済株式総数	15,384,776株
上場証券取引所	東証スタンダード、名証プレミア （証券コード：7213）
連結対象会社	7社（国内4社、海外3社） ※レシップデジタルサイネージ株式会社は 非連結子会社です。
連結従業員数	748名（国内：713名、海外35名）

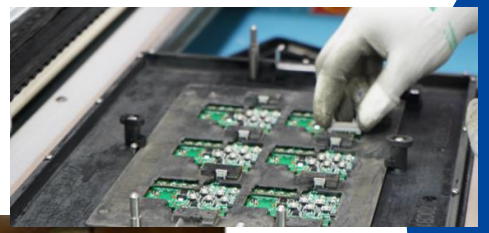
Copyright © LECIP HOLDINGS CORPORATION

2026年3月期：事業セグメント別売上構成比

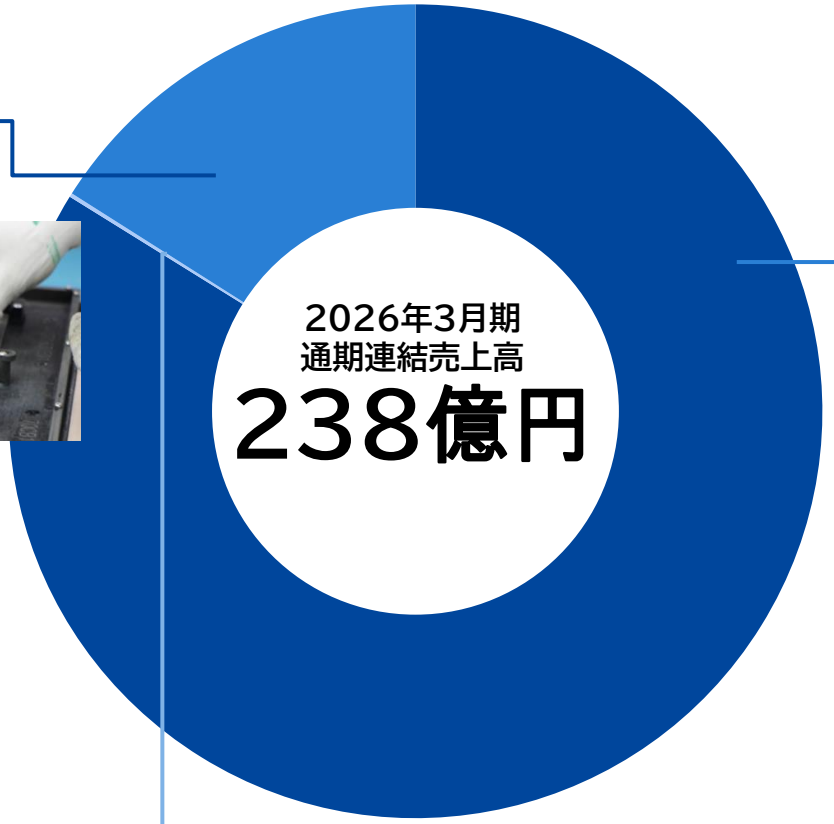
産業機器事業
（エネルギーマネジメントシステム事業）

16.0%

バッテリー式フォークリフト用充電器
屋外用無停電電源装置
プリント基板実装事業







その他 **0.2%**

輸送機器事業

83.8%

バス・鉄道用運賃箱
ICカードシステム
OBC（液晶表示器）
LED式行先表示機器
車載用照明機器





Copyright © LECIP HOLDINGS CORPORATION
LECIP

事業内容 | 輸送機器事業

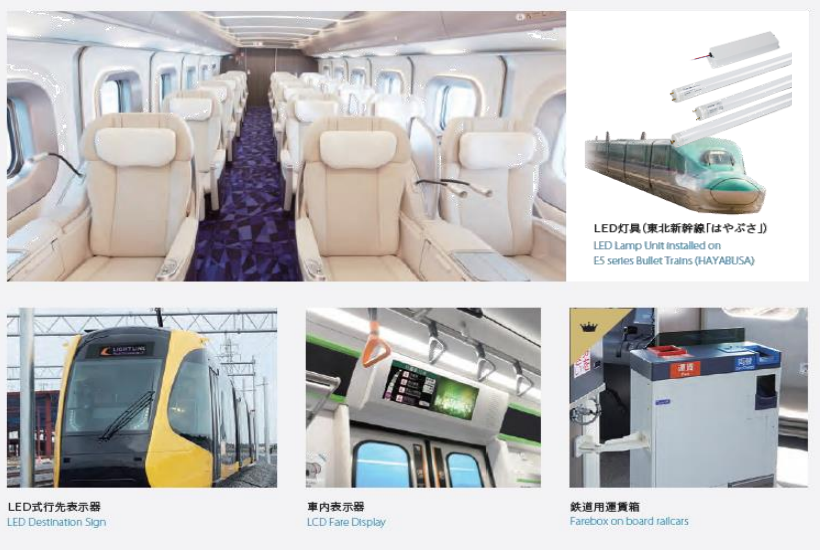
バス市場：バス用システム機器・運行管理システム（TMS）等

国内トップシェアを有する運賃箱を中心に、機器・システムをフルラインで提供



鉄道市場：鉄道用システム機器 等

高いシェアのワンマン機器のほか、新幹線向けなどのLED灯具を提供



自動車市場：車載用照明機器 等

トラック向け灯具はメーカー純正部品として採用



Copyright © LECIP HOLDINGS CORPORATION

事業内容 | 産業機器(エネルギーマネジメントシステム)事業

電源ソリューション市場：充電器・無停電電源装置 等

電力変換を軸に「直流制御技術」「高電圧技術」を活かした製品を提供



バッテリー式フォークリフト用充電器
Forklift Battery Recharging Unit



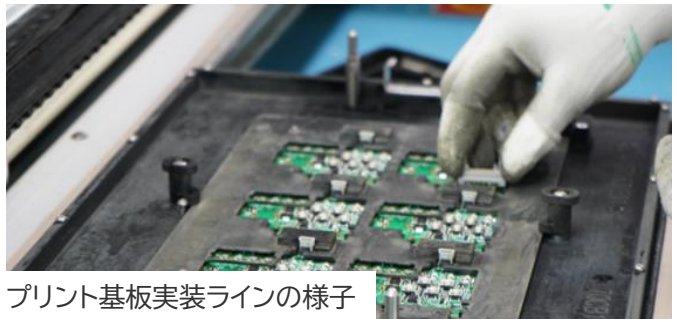
屋外用無停電電源装置(CATV／基地局用)
Uninterruptible Power Supply Unit
(for Cable TV transmission equipment)



非接触式充電器
Wireless battery charger

EMS市場：プリント基板実装

ラインによる量産から手挿入による小ロット生産などあらゆる基板に柔軟に対応



プリント基板実装ラインの様子



【EMS市場】新工場の設立



電子新工場

レシップ電子(株)において、自動車産業の電子化を背景に、車載向け製品の需要拡大に対応するため、新工場を設立。2025年1月から本格稼働し、車載向け専用ラインを備えることで、成長市場の需要を着実に取り込んでいます。

Copyright © LECIP HOLDINGS CORPORATION
LECIP

Agenda

01 事業概要 P3~P6

02 2027年3月期 第2四半期決算概要 P7~P17

03 トピックス P18~P23

04 2027年3月期 通期業績予想の状況 P24~P26

05 次期中期経営計画の方向性 P27~P31

06 参考資料 P32~P36

Copyright © LECIP HOLDINGS CORPORATION

2027年3月期 第2四半期決算のポイント

第2四半期業績　増収・増益

- 売上高は、輸送機器事業が大きく伸長し大幅な増収（前年同期比29.5%増）。
- 特にバス市場において、米国向けAFC（運賃収受システム）の大口売上計上が牽引。
- 営業利益は、増収に加え製品構成や顧客構成の変化による粗利率の改善等により、黒字転換。

通期業績予想　修正なし

- 期初予想からの修正は無し（前期比で増収・増益）。
- 第2四半期までの業績は堅調に推移し、通期予想に対する進捗率は計画通り。例年通り第4四半期の売上伸長を見込む。
- 売上高は、米国での大型案件の売上計上が寄与し、上場来最高売上を見込む。

株主還元

- 配当金は期初予想から修正無し。4期連続の増配となり、期末配当26円を見込む。
- 自己株式取得を予定通り完了。

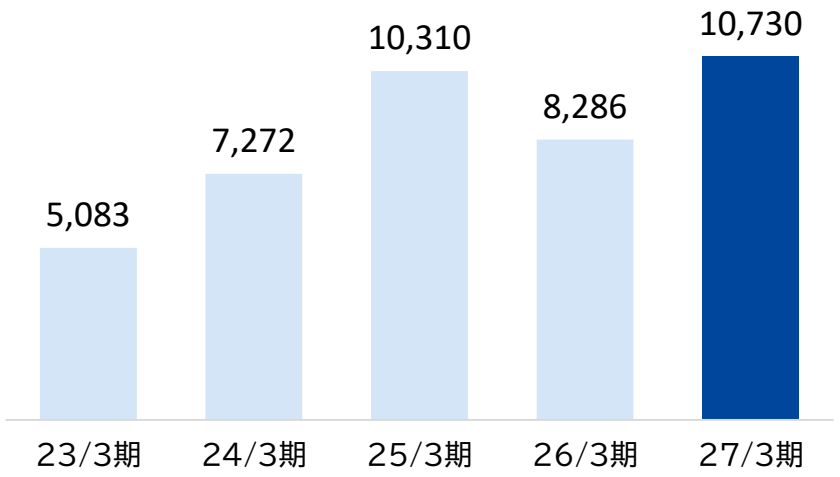
Copyright © LECIP HOLDINGS CORPORATION

2027年3月期：第2四半期　業績の要約

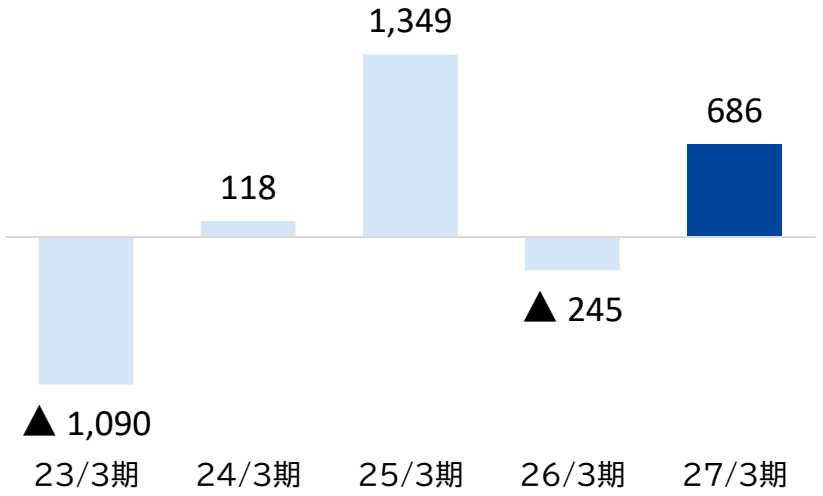
（単位：百万円）

連結業績	2026年3月期 2Q		2027年3月期 2Q				2027年3月期　予想	
	金　額（百万円）	構成比（%）	金　額（百万円）	構成比（%）	増減額（百万円）	増減率（%）	金　額（百万円）	進捗率（%）
売上高	8,286	100.0	**10,730**	100.0	2,443	29.5	**26,500**	40.5
売上総利益	2,265	27.3	**3,246**	30.3	980	43.3	-	-
営業利益	▲245	▲3.0	**686**	6.4	931	―	**1,900**	36.1
経常利益	▲276	▲3.3	**558**	5.2	834	―	**1,900**	29.4
当期純利益	▲224	▲2.7	**480**	4.5	705	―	**1,300**	37.0

第2四半期　売上高

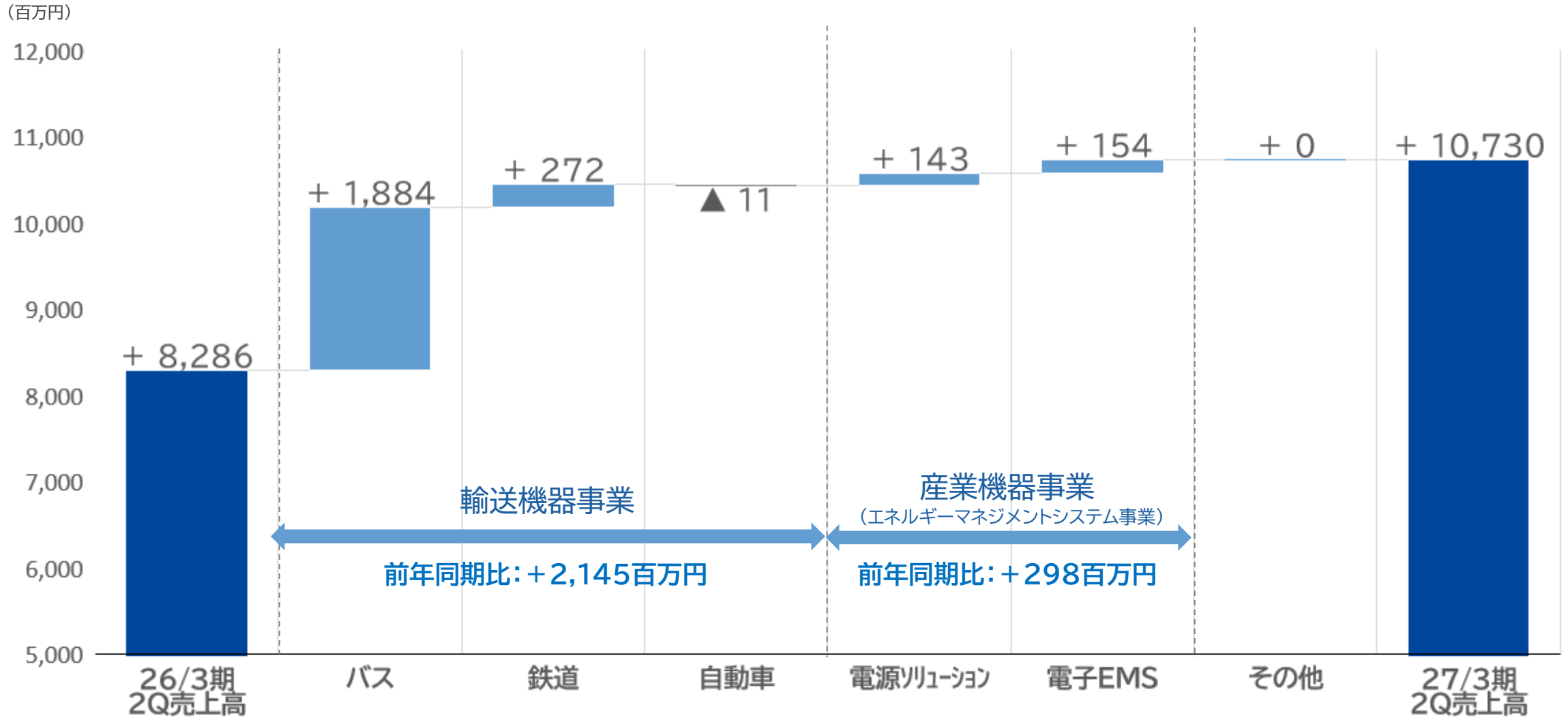


第2四半期　営業利益



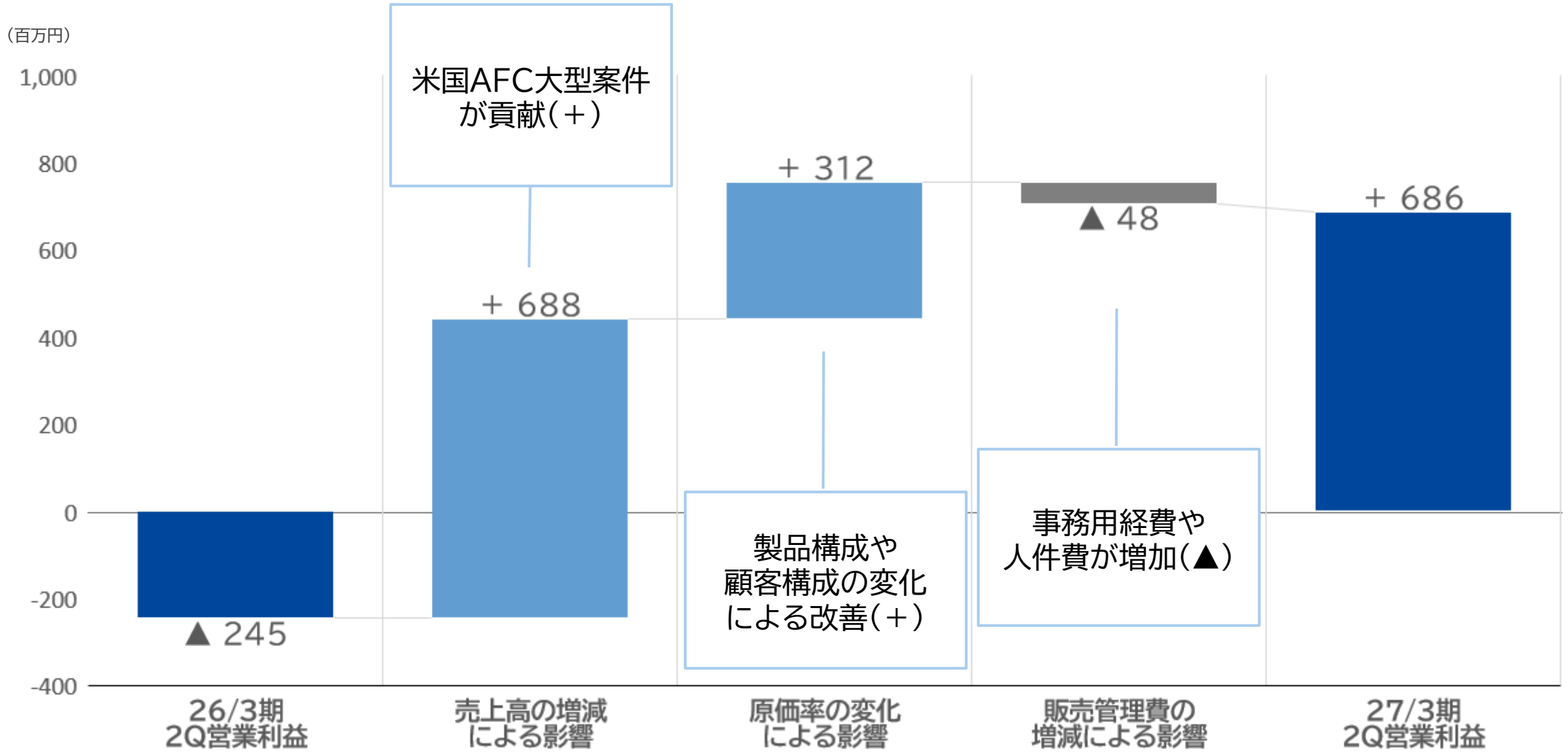
Copyright © LECIP HOLDINGS CORPORATION

2027年3月期：第2四半期 売上高の増減要因



Copyright © LECIP HOLDINGS CORPORATION

2027年3月期：第2四半期 営業利益の増減要因



Copyright © LECIP HOLDINGS CORPORATION

2027年3月期：第2四半期セグメント別業績

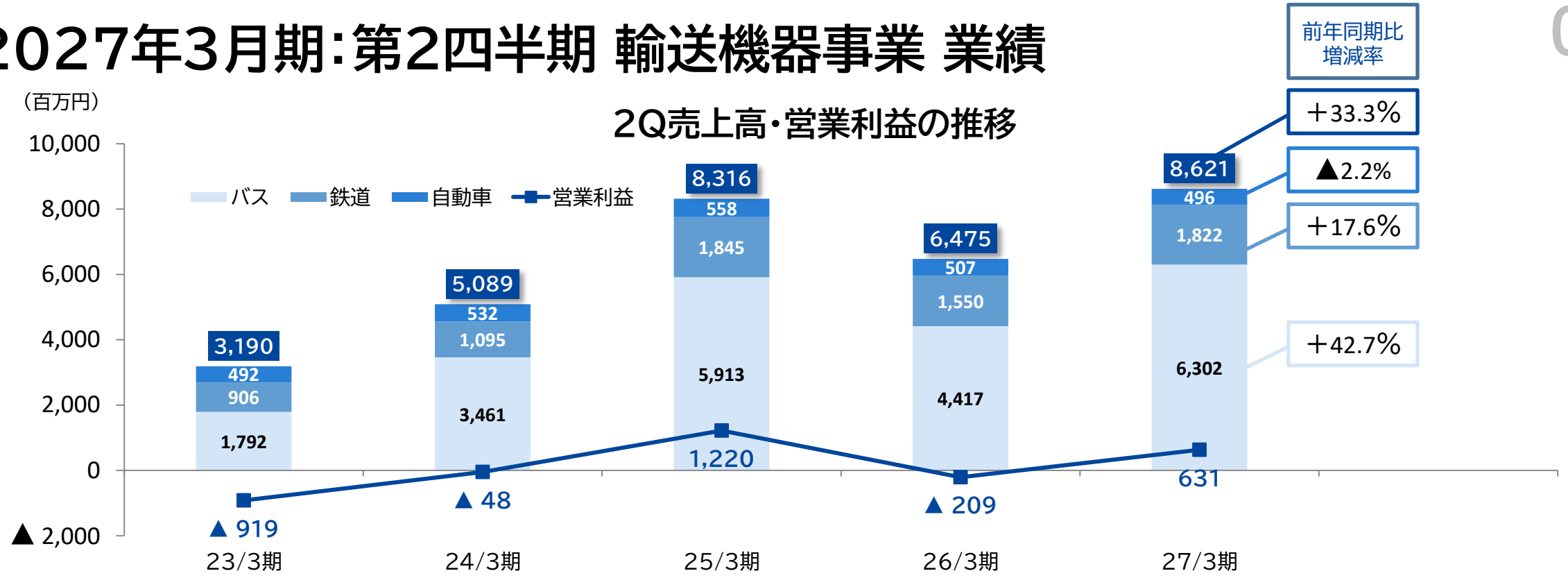
（単位：百万円）

売上高	2026年3月期 2Q		2027年3月期 2Q			
	金 額（百万円）	構成比（%）	金 額（百万円）	構成比（%）	増減額（百万円）	増減率（%）
輸送機器事業	6,475	78.1	**8,621**	80.3	2,145	33.1
産業機器事業（ｴﾈﾙｷﾞｰﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｼｽﾃﾑ事業）	1,792	21.6	**2,090**	19.5	298	16.6
その他事業	18	0.2	**18**	0.2	―	―
合計	8,286	100.0	**10,730**	100.0	2,443	29.5

営業利益	2026年3月期 2Q		2027年3月期 2Q			
	金 額（百万円）	構成比（%）	金 額（百万円）	構成比（%）	増減額（百万円）	増減率（%）
輸送機器事業	▲209	97.6	**631**	87.4	840	―
産業機器事業（ｴﾈﾙｷﾞｰﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｼｽﾃﾑ事業）	▲7	3.4	**88**	12.3	96	―
その他事業	2	▲0.9	**2**	0.3	0	12.3
計	▲214	100.0	**722**	100.0	937	―
消去・全社	▲30	―	**▲35**	―	▲5	―
合計	▲245	―	**686**	―	931	―

Copyright © LECIP HOLDINGS CORPORATION

2027年3月期：第2四半期 輸送機器事業 業績



売上高　8,621百万円（前年同期比33.1%増）

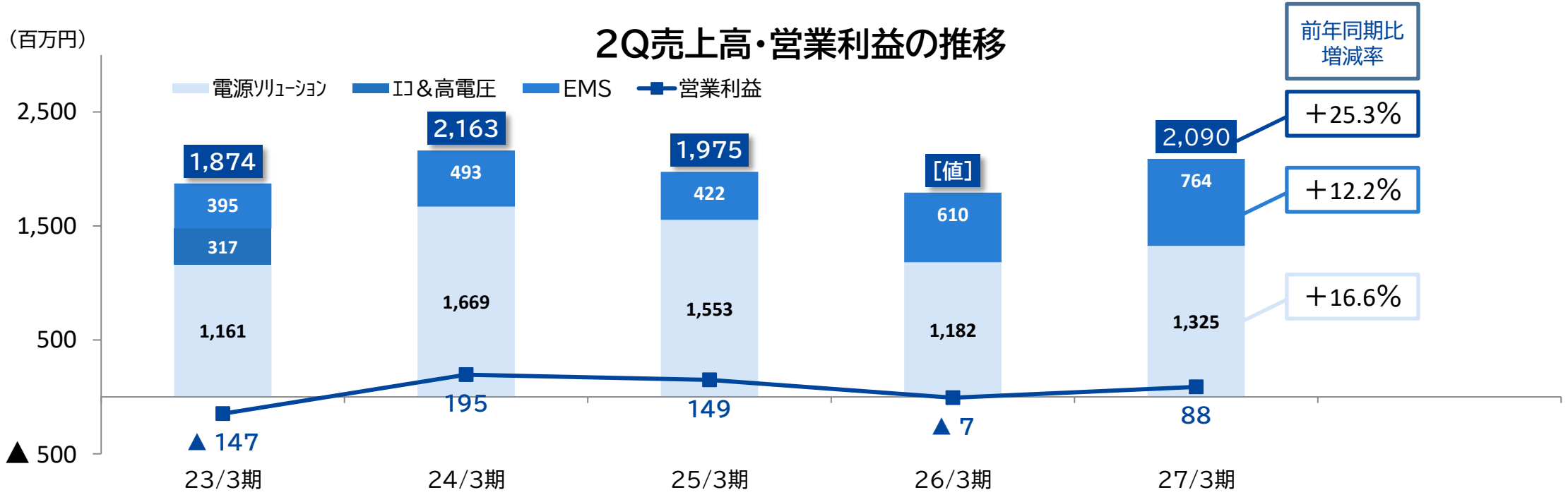
- バス市場：国内の運賃箱の売上は前年同期の大型案件計上に伴う一過性の反動減があった一方、米国向けAFC（運賃収受システム）の検収完了に伴う大口売上が計上されたこと等により、増収。
- 鉄道市場：国内および米国向け鉄道用LED灯具売上が増加したことにより、増収。
- 自動車市場：自動車向けLED灯具の売上が増加したものの、海外向け製品等の売上が減少し、減収。

営業利益　631百万円（前年同期は209百万円の営業損失）

- 米国事業における増収や、ソリューション製品の販売構成比の変化などに伴う原価率の改善により、増益。

Copyright © LECIP HOLDINGS CORPORATION

2027年3月期：第2四半期 産業機器事業(エネルギーマネジメントシステム事業) 業績



売上高　2,090百万円（前年同期比16.6%増）

- 電源ソリューション市場：インバーター充電器、無停電電源装置の売上増等により、増収。
- EMS市場：自動車向け基板実装の売上増加等により、増収。

営業利益　88百万円（前年同期は7百万円の営業損失）

- 増収による増益。

※ 2024年3月期に行った高電圧変圧器事業の事業譲渡に伴い、
これまでエコ照明・高電圧ソリューション市場として表示していた内容を電源ソリューション市場に組み替えております。

Copyright © LECIP HOLDINGS CORPORATION
LECIP

連結損益計算書

（単位：百万円）

【連結P/L】	2026年3月期 2Q		2027年3月期 2Q			
	金 額（百万円）	構成比（%）	金 額（百万円）	構成比（%）	増減額（百万円）	主な要因
売上高	8,286	100.0	**10,730**	**100.0**	2,443	
売上原価	6,021	72.7	**7,484**	**69.7**	1,463	
売上総利益	2,265	27.3	**3,246**	**30.3**	980	
販売管理費	2,510	30.3	**2,559**	**23.9**	48	事務用経費：+43百万円 減価償却費：▲46百万円 給与･賞与･法定福利費･福利厚生費：+16百万円
営業利益	▲245	▲3.0	**686**	**6.4**	931	
営業外収益	39	0.5	**44**	**0.4**	5	受取利息：+2百万円
営業外費用	70	0.8	**172**	**1.6**	102	損害賠償金：+93百万円 為替差損：+36百万円
経常利益	▲276	▲3.3	**558**	**5.2**	834	
特別利益	35	—	**—**	**—**	▲35	
特別損失	12	0.1	**10**	**0.1**	▲2	減損損失：▲1百万円 補助金収入：▲35百万円
税金等調整前純利益	▲253	▲3.1	**548**	**5.1**	801	
法人税等合計	▲28	▲0.3	**67**	**0.6**	96	
当期純利益	▲224	▲2.7	**480**	**4.5**	705	

Copyright © LECIP HOLDINGS CORPORATION

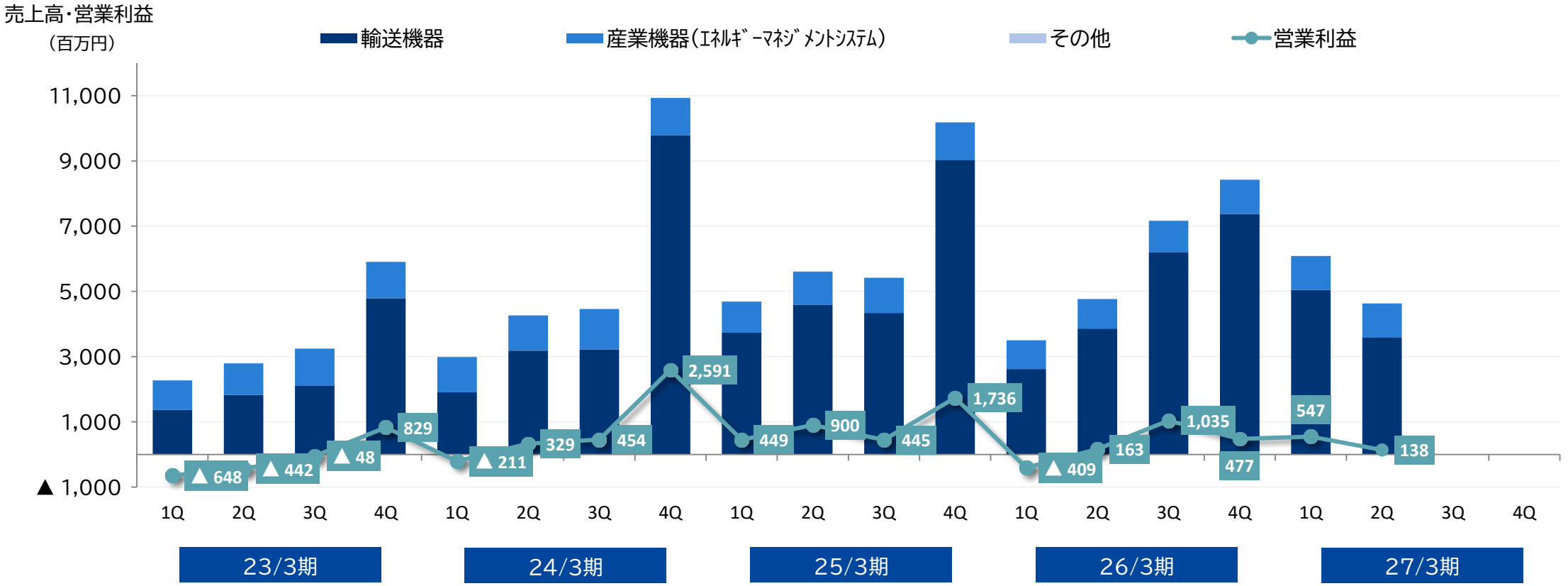
連結貸借対照表

（単位：百万円）

【連結B/S】	2026年3月期 期末		2027年3月期 2Q			
	金 額（百万円）	構成比（%）	金 額（百万円）	構成比（%）	増減額（百万円）	主な要因
流動資産	16,858	77.6	**14,894**	**75.0**	▲1,964	現金及び預金：▲1,522百万円 受取手形及び売掛金：▲2,040百万円 商品及び製品：＋600百万円 仕掛品：＋394百万円
固定資産	4,857	22.4	**4,973**	**25.0**	116	有形固定資産：▲136百万円 無形固定資産：＋62百万円 投資有価証券：+189百万円
資産合計	21,715	100.0	**19,867**	**100.0**	▲1,847	
流動負債	9,720	44.8	**7,896**	**39.7**	▲1,824	未払法人税等：▲318百万円 前受金：▲1,532百万円
固定負債	1,017	4.7	**818**	**4.1**	▲198	長期借入金：▲166百万円
負債合計	10,738	49.4	**8,715**	**43.9**	▲2,022	
純資産合計	10,977	50.6	**11,152**	**56.1**	174	その他有価証券評価差額金：＋127百万円 利益剰余金：+102百万円 自己株式の取得：▲92百万円
負債･純資産合計	21,715	100.0	**19,867**	**100.0**	▲1,847	

Copyright © LECIP HOLDINGS CORPORATION

四半期業績の推移



- 主要な取引先様である顧客（バス・鉄道事業者）の投資が輸送機器を中心に年度末にかけて活発化。
- 売上高・営業利益ともに、4Qに集中する傾向。
- 2027/3期の2Q単独の業績は、米国大型案件を計上した1Qからは一服するも、2Qとしては高水準を維持。

Copyright © LECIP HOLDINGS CORPORATION

Agenda

01 事業概要
P3~P6

02 2027年3月期　第2四半期決算概要
P7~P17

03 トピックス
P18~P23

04 2027年3月期　通期業績予想の状況
P24~P26

05 次期中期経営計画の方向性
P27~P31

06 参考資料
P32~P36

Copyright © LECIP HOLDINGS CORPORATION

トピックス①：海外事業の進捗～バス市場～

◆米国市場の大型案件完遂により、認知度と信頼性が大きく向上

【米国におけるこれまでの受注実績】

	…	NCTD	TriMet	Houston METRO	OCTA	CAT	SPOKANE	累計台数
納入時期	～2019年	2023年3月	2025年10月	2026年6月	2026年（予定）	2026年（予定）	2026年（予定）	―
運賃箱台数（台）	174	182	727	1,431	592	33	189	3,328





- 前期のTriMet様（727台）に加え、今期6月にHouston METRO様（1,431台）を完遂し、2Qの大幅な増収を牽引
- 米国で累計9件を受注（うち6件納入済）。下期もOrange County Transportation Authority（OCTA）様等の納入2件を確実に控える
- Spokane Transit Authority（STA）様にて10月より新型運賃箱の実装を開始
- 今期通期の海外売上比率は全体の20%以上に達する見込み

米国路線バス車両数（当社推計）
約65,000台

2030年獲得目標　シェア10%

累計獲得台数※
3,328台

米国シェア　約5%

※2026年9月時点の受注済案件を含む

Copyright © LECIP HOLDINGS CORPORATION

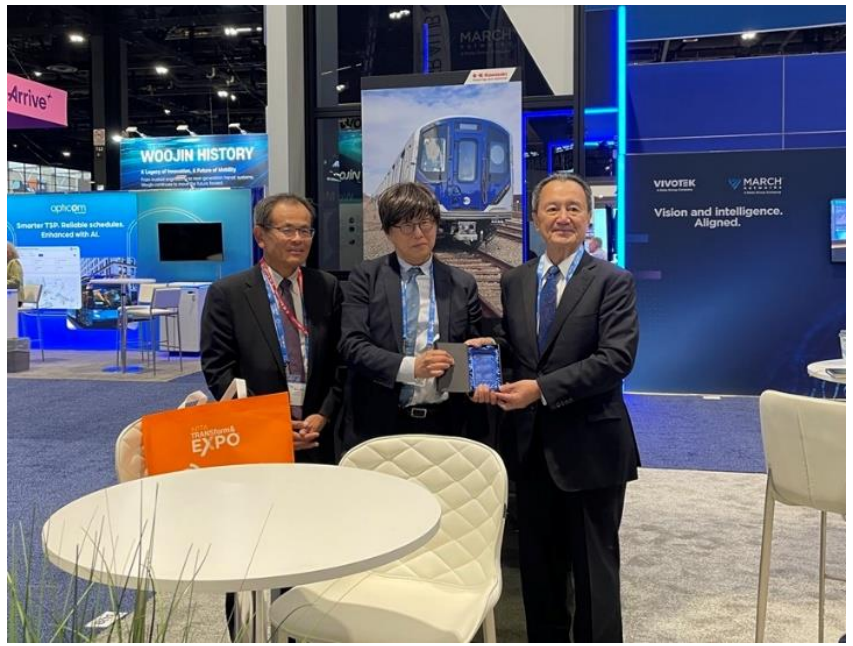
トピックス①：海外事業の進捗～鉄道市場～

【新型地下鉄電車「R211」向け鉄道用灯具車両数見込】

車両数	～23/3期	24/3期	25/3期	26/3期	27/3期	28/3期	計
	実績	実績	実績	実績	見込	見込	
BASE	132	276	137				**545**
Option			273	319	325	148	**1,065**
総計	**132**	**276**	**410**	**319**	**325**	**148**	**1,610**

LECIP INC.（以下「ULC」）は、ニューヨーク市交通局（New York City Transit）の新型地下鉄電車「R211」向けの鉄道灯具を、Kawasaki Rail Car, Inc.様（以下「KRC」様）を通じて納入。総計1,610両の大規模案件を遂行中（今期は325両納入見込）

当社 → 川崎車両（KRC）様 → ニューヨーク市交通局



「2026 優秀サプライヤー賞」受賞の様子

10月、KRC様より「2026 優秀サプライヤー賞」を受賞
当社の安定供給力と主体的な問題解決姿勢が高く評価されました

【評価基準】

- 透明性の高いタイムリーなコミュニケーション（Transparency and timely communication）
- 主体的な問題解決とリスク管理（Proactive problem-solving and risk management）
- 安定供給とプロジェクト成功へのコミットメント（Commitment to stable supply and project success）
- KRC様とのパートナーシップとチームワーク（Partnership and teamwork with KRC）

Copyright © LECIP HOLDINGS CORPORATION

トピックス①：海外事業の進捗～米国市場と当社の強み～

◆2026年10月4日～7日に開催された「APTA TRANSform & EXPO 2026」に出展



- 米国で展開する運賃収受システム（AFC）に加え、鉄道車両向けLED照明を展示
- さらに、非接触・QRコード決済対応の次世代バリデーター「LV-800シリーズ」を紹介
- リアルタイム運行情報やデジタル広告を配信するデジタルサイネージもコンセプト展示
- 運賃収受システムにとどまらない製品・ソリューションの提案を通じ、米国をはじめとする海外市場での事業領域拡大を目指す



強み①：バイ・アメリカ法に対応

米国の公共事業で求められる自国製品優先調達・米国内製造の厳格なルールをクリアする製造体制を既に確立。

強み②：丁寧な「サポート体制」

事業者の規模に関わらず、レスポンス良く丁寧なサポート体制を敷くことで、お客様に快適な運用環境を提供

強み③：実績による信頼の向上

現地業界での認知度が向上。営業活動が極めて進めやすい環境に。

強み④：フルスペック技術の保有

ICカード対応等を含むフルスペックの運賃収受システムを開発できる技術力を保有。

Copyright © LECIP HOLDINGS CORPORATION

トピックス②：新規ビジネス～MoveLe本格始動～

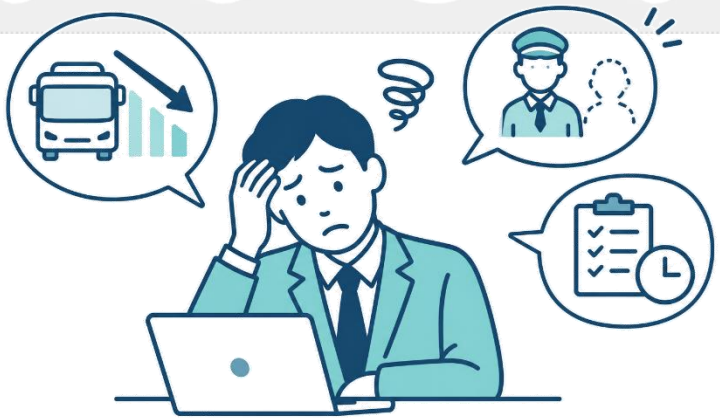
MoveLe

Move（移動） × Sustainable（持続可能性）

すべてのオペレーションを最適化

様々なオペレーション

営業企画 / 車両管理 / 運行計画 / 運行管理 / 安全管理 / 運賃収受 / 労働管理 / 利用者サポート / 行政管理手続き

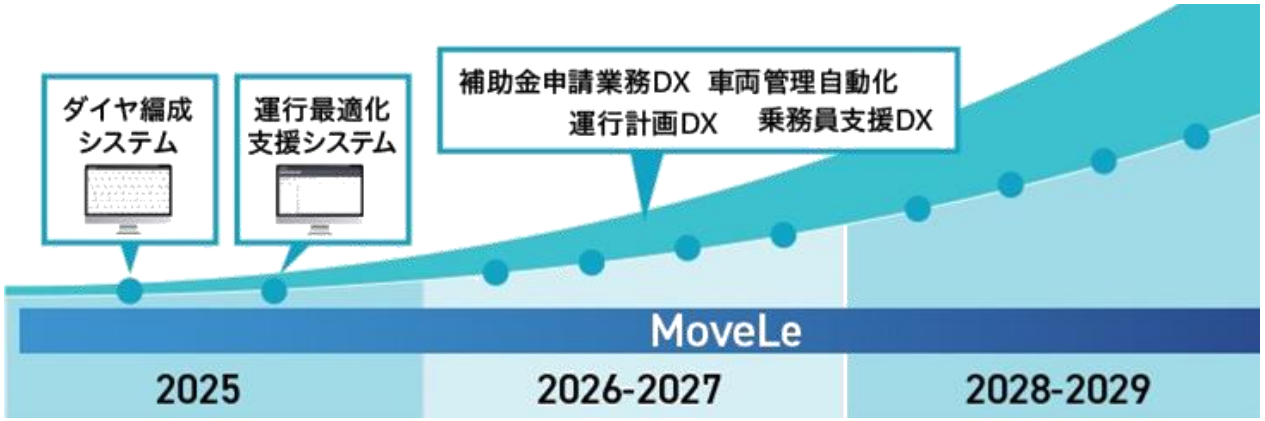


NEW

補助金申請業務DX



運賃箱から得られる現金やICカードの一次データをつなぎ合わせ、
行政への報告に必要な形式で自動出力するシステム
現場を膨大な事務作業から解放し、経営改善にリソースを振り向けて
いただくための支援ツールとして開発

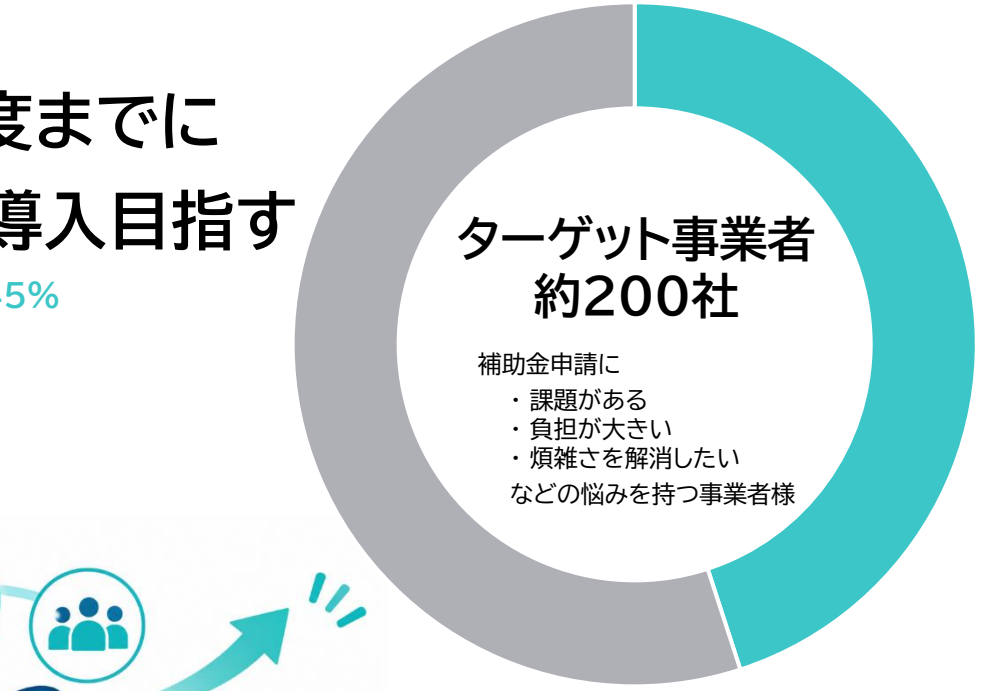


Copyright © LECIP HOLDINGS CORPORATION

トピックス②：新規ビジネス～MoveLe本格始動～

NEW 補助金申請業務DX

2030年度までに
90社への導入目指す
※ターゲット事業者の約45%





MoveLe

ダイヤ編成システム



運行最適化支援システム



補助金申請業務DX



今後リリース予定
・車両管理自動化
・運行計画DX
・乗務員支援DX
など

毎年2件以上新たなソリューションを追加

Copyright © LECIP HOLDINGS CORPORATION
LECIP

Agenda

01 事業概要 P3~P6

02 2027年3月期 第2四半期決算概要 P7~P17

03 トピックス P18~P23

04 2027年3月期 通期業績予想の状況 P24~P26

05 次期中期経営計画の方向性 P27~P31

06 参考資料 P32~P36

Copyright © LECIP HOLDINGS CORPORATION

2027年3月期：通期業績予想（修正なし）

通期業績予想は増収増益の見通し

（単位：百万円）

連結業績	2026年3月期 通期		2027年3月期 2Q		2027年3月期 通期				
	実績	構成比	実績	構成比	予想	構成比	増減額	増減率	中期経営計画　目標
売上高	**23,898**	100.0%	**10,730**	100.0%	**26,500**	100.0%	2,601	10.9%	**24,000**
営業利益	**1,268**	5.3%	**686**	6.4%	**1,900**	7.2%	631	49.8%	**1,200**
経常利益	**1,508**	6.3%	**558**	5.2%	**1,900**	7.2%	391	25.9%	**—**
当期純利益	**1,177**	4.9%	**480**	4.5%	**1,300**	4.9%	122	10.4%	**—**
ROE	**11.2%**	-	**-**	-	**11.2%**	-	-	-	**9.0%**

- 第2四半期までの業績は堅調に推移し、通期予想に対する進捗率は計画通り。例年通り第4四半期の売上集中を見込む。
- 米国での運賃収受システム大型案件の売上計上が業績に大きく貢献し、上場以来過去最高となる売上高を予想。
- 国内でのバス市場向けも需要は底堅く、下期にかけて堅調に推移する見通し。

Copyright © LECIP HOLDINGS CORPORATION

2027年3月期：株主還元（配当予想・自己株式取得）

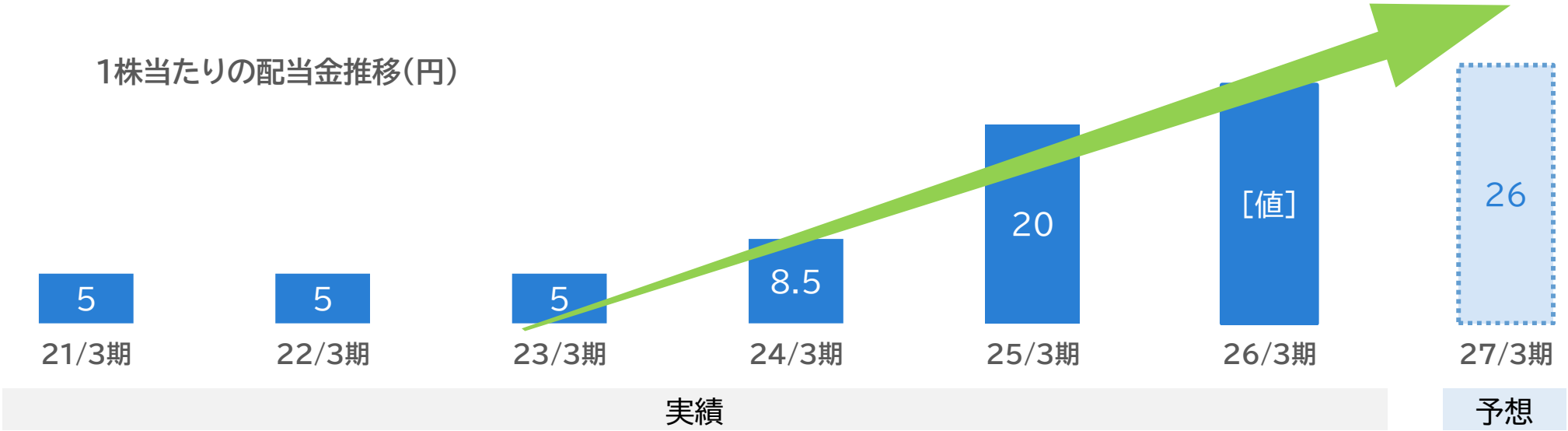
配当予想

- 純資産配当率（DOE）の水準を「2%以上」から「3%以上」へ引き上げ（2026年4月）。
- 新方針に基づき、2027/3期は、4期連続の増配となる期末配当金26円を予想。
- 配当方針に基づきDOE基準による安定配当を基本とし、利益成長による継続的な増配を目指す。

自己株式の取得

- 2026年5月に決議した自己株式の取得を完了。

  取得期間　：2026年5月19日～2026年11月17日
  取得株式数：25万株　取得価額の総額　：144百万円



Copyright © LECIP HOLDINGS CORPORATION

Agenda

01 事業概要 P3~P6

02 2027年3月期 第2四半期決算概要 P7~P17

03 トピックス P18~P23

04 2027年3月期 通期業績予想の状況 P24~P26

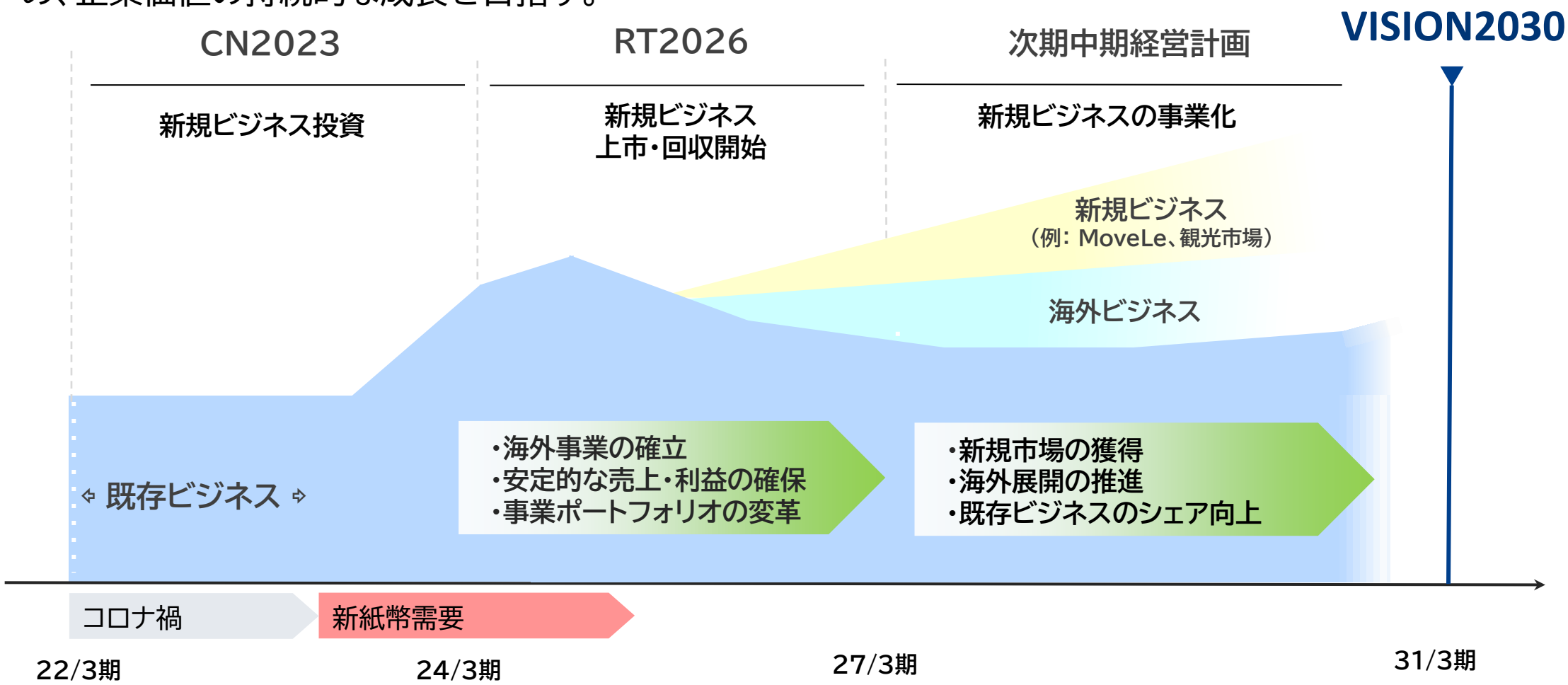
05 次期中期経営計画の方向性 P27~P31

06 参考資料 P32~P36

Copyright © LECIP HOLDINGS CORPORATION

中長期的な成長イメージ

海外市場・新規ビジネスの育成による新規市場の獲得や既存ビジネスの拡張により、事業構造の変革を進め、企業価値の持続的な成長を目指す。



Copyright © LECIP HOLDINGS CORPORATION

現中期経営計画の進捗（成果と課題）

重点課題	成果	課題
海外事業の確立	・主力案件の安定納入を確立 ・海外売上比率の拡大	・全米への展開でのシェア向上 ・運用・保守によるストック収益の拡大
新規領域の拡大	・観光分野でのプレゼンス拡大 ・ダイヤ編成システムなど、事業領域の拡大	・ストック収益基盤の確立
収益性・効率性の追求	・過去最高水準の利益を創出 ・既存主要製品の国内トップシェアを維持	・フロー収益の限界利益率向上 ・業務拡大に伴う設計・開発工数の高止まり

2027年3月期の連結業績は中期経営計画（RT2026）目標を上回る見通し

2027年3月期	連結売上高	営業利益	営業利益率	ROE
RT2026目標	240億円	12億円	5% 以上	9% 以上
通期業績予想	265億円	19億円	7.2%	11.2%

Copyright © LECIP HOLDINGS CORPORATION
LECIP

事業環境と当社の提供価値

国内のソリューションニーズ拡大や海外の市場拡張機運上昇など事業環境の変化を捉え、当社の強みを活かして最適な価値を提供する

事業環境

国内市場

- 人流回帰・インバウンドによる**旅客輸送量の増加**
- **人手不足**によるバス減便・廃線拡大
- 社会インフラ維持に向け、**国・地方自治体の支援が拡充**（補助金等）
- 運行維持・コスト削減のための**標準化ソリューションのニーズ拡大**

海外市場

- 都市部における**公共交通網の整備強化**
- バス運賃は**現金ニーズが根強い一方**、キャッシュレス化で**決済手段が多様化**
- 燃料費の上昇・環境意識の向上・オフィス回帰等による**公共交通利用者数の増加**

レシップの提供価値

- バス運行に関わる機器・システムの**総合力**
- 直販による事業者様との**強い信頼関係**でニーズを捉え、貢献する**ソリューション開発力**
- **良質なアフターサービス**
- **米国での実績**蓄積

Copyright © LECIP HOLDINGS CORPORATION

次期中期経営計画の方向性

次期中期経営計画は、2027～2029年度の3か年とする方針
定量目標と併せて2026年度本決算時に開示予定

現中期経営計画の重点戦略を
ターゲット領域を絞り込んだ戦略へ進化

次期中期経営計画の方向性

海外展開の推進	新規ビジネスの拡大	資本効率の向上
海外事業の 基盤強化・収益力向上	自動運転社会の到来を見据え、 地域交通をMoveLeで支える 持続可能な運行基盤の確立	成長分野へのM＆Aを含む 戦略的投資・協業、 人的資本の強化

ハードウェア売り切り型からストック型へ価値提供を拡げ、
お客様の事業継続を支えるパートナーへ進化

※ 上記の方向性は現時点の想定であり、今後の策定過程において変更となる可能性があります。

Copyright © LECIP HOLDINGS CORPORATION

Agenda

01 事業概要
P3～P6

02 2027年3月期　第2四半期決算概要
P7～P17

03 トピックス
P18～P23

04 2027年3月期　通期業績予想の状況
P24～P26

05 次期中期経営計画の方向性
P27～P31

06 参考資料
P32～P36

Copyright © LECIP HOLDINGS CORPORATION

事業系統図

※ レシップデジタルサイネージ㈱は非連結子会社です。

レシップホールディングス㈱ ［持株会社］

経営指導・不動産の賃貸

不動産の賃貸 → その他

※1 レシップデジタルサイネージ㈱

デジタルサイネージの運営・管理 → バスチャンネル®

レシップ㈱



製造・販売 → レシップエンジニアリング㈱

機器の取付作業・修理メンテナンス

輸送機器事業と産業機器事業に係わる製品の製造・販売

基板制作 ← レシップ電子㈱

EMS事業（プリント基板の実装・組立）

輸送機器事業

産業機器事業（エネルギーマネジメントシステム）

日本

製造・販売



レシップグループ一覧

LECIP INC.
［ アメリカ ］

バス・鉄道用電装機器の製造・販売



LECIP（SINGAPORE）PTE LTD
［ シンガポール ］

バス・鉄道用電装機器の販売



LECIP ARCONTIA AB
［ スウェーデン ］

バリデータ・キャッシュレス端末の開発・販売



輸送機器事業

海外

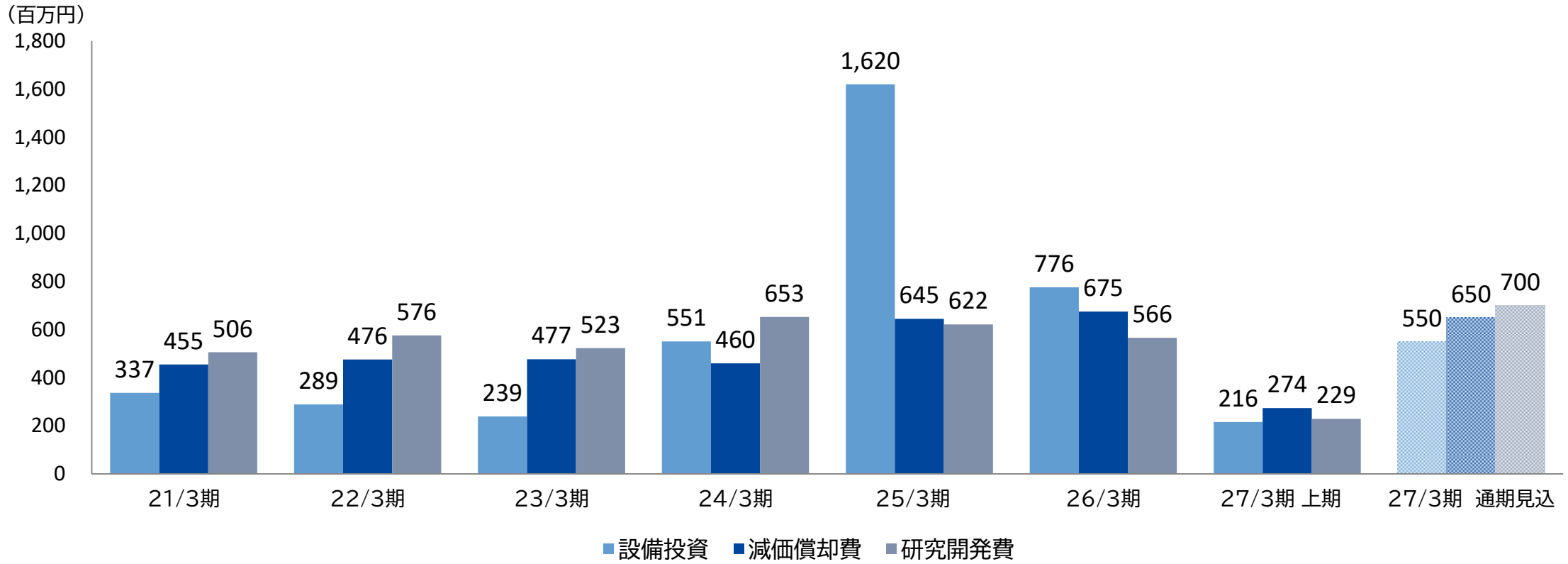
Copyright © LECIP HOLDINGS CORPORATION

研究開発費、設備投資、減価償却費の推移

27/3期　上期実績

■ 設備投資　　：ソフトウェア仮勘定、金型、リース資産　等

■ 研究開発費　　：PIS関係（OBC編集ソフト開発）、観光関連、照明・電源関係　等



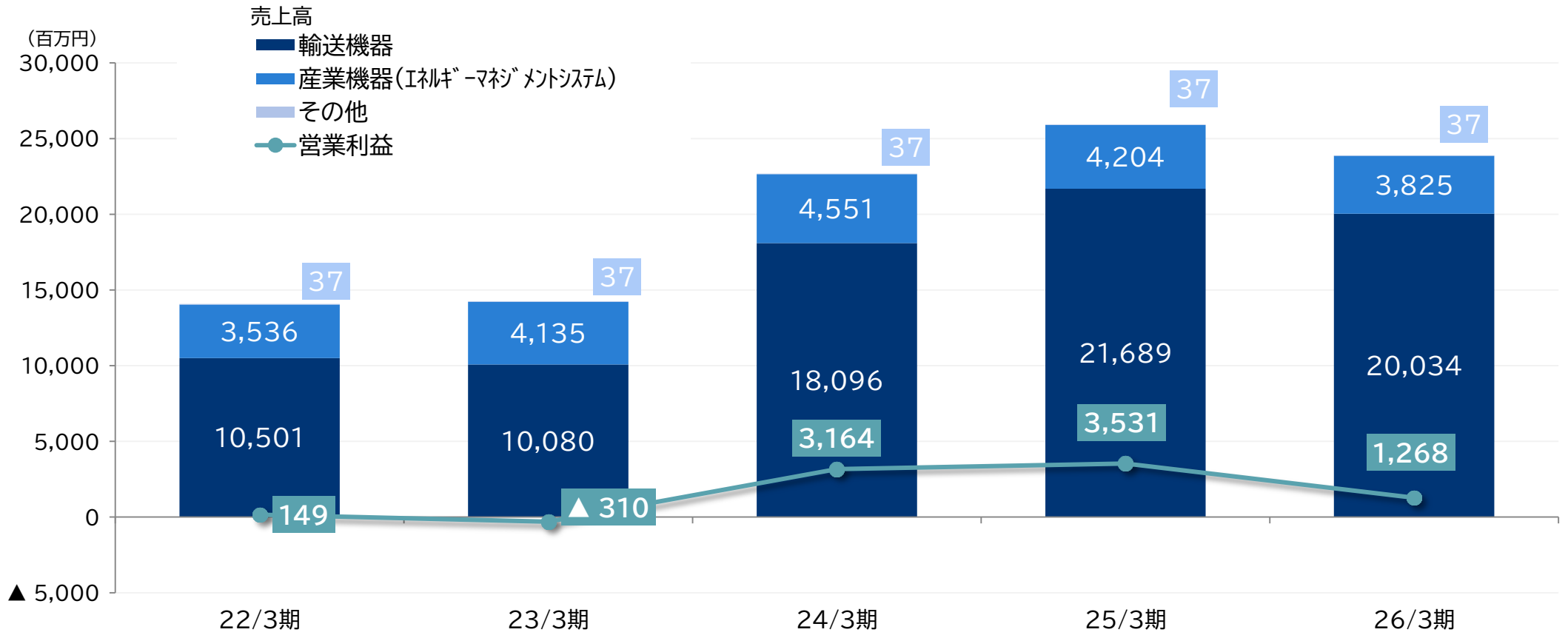
※2025年3月期の設備投資は、主にレシップ電子の新工場への投資

Copyright © LECIP HOLDINGS CORPORATION

過年度通期業績の推移

（単位：百万円）

	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期
売上高	14,075	14,253	22,684	25,931	23,898
営業利益	149	▲310	3,164	3,531	1,268



Copyright © LECIP HOLDINGS CORPORATION

主な経営指標の推移

（単位：百万円）

	2018/3期	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期	2027/3期（予想）
売上高	15,749	21,538	26,051	15,553	14,075	14,253	22,684	25,931	23,898	26,500
営業利益	▲235	1,021	1,854	▲40	149	▲310	3,164	3,531	1,268	1,900
営業利益率（%）	（▲1.5）	（4.7）	（7.1）	（▲0.3）	（1.1）	（▲2.2）	（13.9）	（13.6）	（5.3）	（7.2）
経常利益	▲248	1,030	1,830	35	325	▲207	3,557	3,483	1,508	1,900
経常利益率（%）	（▲1.6）	（4.8）	（7.0）	（0.2）	（2.3）	（▲1.5）	（15.7）	（13.4）	（6.3）	（7.2）
当期純利益	▲454	438	891	▲124	53	▲249	2,416	2,255	1,177	1,300
当期純利益率(%)	（▲2.9）	（2.0）	（3.4）	（▲0.8）	（0.4）	（▲1.7）	（10.7）	（8.7）	（4.9）	（4.9）
総資産	12,465	16,445	14,791	15,129	14,449	14,856	19,948	20,403	21,715	―
純資産	2,985	3,427	5,078	4,912	4,775	4,688	6,881	10,100	10,977	―
自己資本比率(%)	（24.0）	（20.8）	（34.3）	（32.5）	（33.0）	（31.6）	（34.5）	（49.5）	（50.6）	―
EPS(円)	▲40.91	38.75	74.39	▲9.77	4.16	▲19.19	178.03	152.29	76.32	84.03
ROE（%）	▲14.0	13.7	21.0	▲2.5	1.1	▲5.3	41.8	26.6	11.2	―
BPS(円)	267.56	301.92	398.64	385.17	371.56	346.64	505.94	656.86	709.55	―

※ 2020年3月期に138万株、2025年3月期に171万株の新株発行増資を行っております。
※ 2022年3月期より、企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」及び企業会計基準適用指針第30号「収益認識に関する会計基準の適用指針」を適用しております。

Copyright © LECIP HOLDINGS CORPORATION

LECIP GROUP

レシップホールディングス株式会社

【資料お問合せ先】　管理本部　経営管理部　電話番号　:(058)324-3121

将来予測について

本資料のうち業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。

Copyright © LECIP HOLDINGS CORPORATION LECIP